

県小体研だより

鳥取県小学校体育研究会 令和5年3月発行

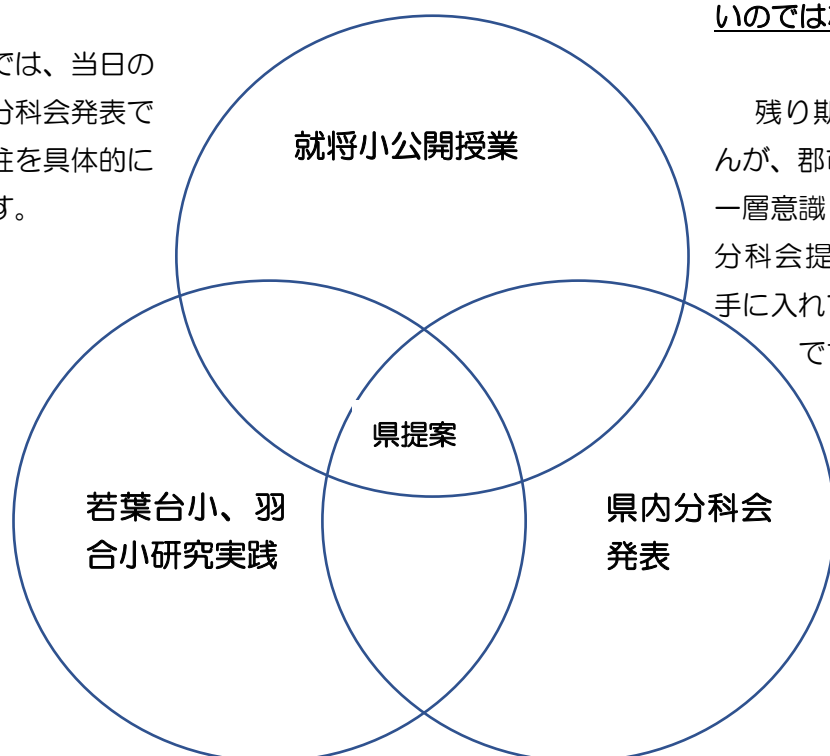
令和5年11月2日(木)、第61回中・四国小学校体育研究大会〈鳥取大会〉を米子市立就將小学校で開催します。

そこに向かっての会場校(公開授業)や各郡市(分科会提案)の情報を県内広くに伝えていく「お便り」を今後発行していきます。

中・四国大会では、当日の公開授業や県内分科会発表でテーマや研究の柱を具体的に提案していきます。

〈研究部長会、理事研修会での提案〉

「わたしたちの体育・わたしたちの保健の活用」を一例にすると、どのような活用方法をしているのか各郡市間でもっと情報共有を図ればよいのではないか。



残り期間は多くありませんが、郡市間で「重なり」を一層意識して、当日の授業や分科会提案の内容を早くに手に入れておくことは重要です。

従って、それぞれの内容の「重なり」部分が多いと、参加者は提案内容が分かりやすくなります。

しかし、この2年間はコロナ禍で対面研修が少なくなり、体育部員が一堂に会して研究授業や各郡市の分科会提案の内容を目の当たりにする機会をなかなかもてませんでした。その結果、例年に比べ「重なり」の部分を一層意識することが課題となっています。

県小体研・近藤会長より

令和5年度の中四国小学校体育研究大会(米子大会)に向けた研修や実践を通して、更に繋がりを深め、互いの取組に思いを馳せ、情報共有することができるきっかけづくりになればと、長谷川顧問から「県小体研だより」発刊の提案と寄稿をいただきました。機会を捉えて今後も発刊予定です。どうぞよろしくお願いいたします。